

～バックオフィスの業務改善サービス～ OCRから始まる○○



※パンフレットの挿絵は、「Microsoft Designer」で作成しています。

バックオフィス業務でお困りではありませんか？



人手不足、人件費高騰によるオペレーションコストの増加

- ・ 運用現場における人手不足の状態が慢性化している。
- ・ また、人件費が高騰しており、オペレーションコスト増加の主要因になっている。



業務が忙しすぎて、業務改善まで手が回らない

- ・ オペレーションコストを抑制するため、限られた人員で膨大な処理をこなさなければならない。
- ・ そのため、現状の課題整理や、業務改善の計画を立てる余裕がない。



部分的にソリューションを導入してみたものの、効率があがらない

- ・ 部分的にソリューションを導入したが、ソリューション間の統合が不十分で、部分的な効率化にとどまっている。
- ・ そのため、全体の生産性向上には限界があり、業務全体の最適化には至っていない。

業務改善のためのアプローチをご提案します！



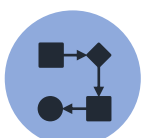
人海戦術からの脱却

- ・ 人手に頼ったアプローチから脱却し、デジタル技術を活用して、業務の自動化・最適化を進める方向へ舵を切る。
- ・ 「ルール」や「ルーチンワーク」に基づく業務を洗い出し、人手からデジタル技術への移行を推進する。



現状業務の可視化と段階的な改善策の実施

- ・ 外部支援も活用しながら、一定期間、改善活動に専念できるチームを編成。現状の業務プロセス図を作成する。
- ・ 可視化した業務プロセス図とそこから見える課題を関係者で共有。対応策の優先順位をつけ、継続的な改善を推進していく。



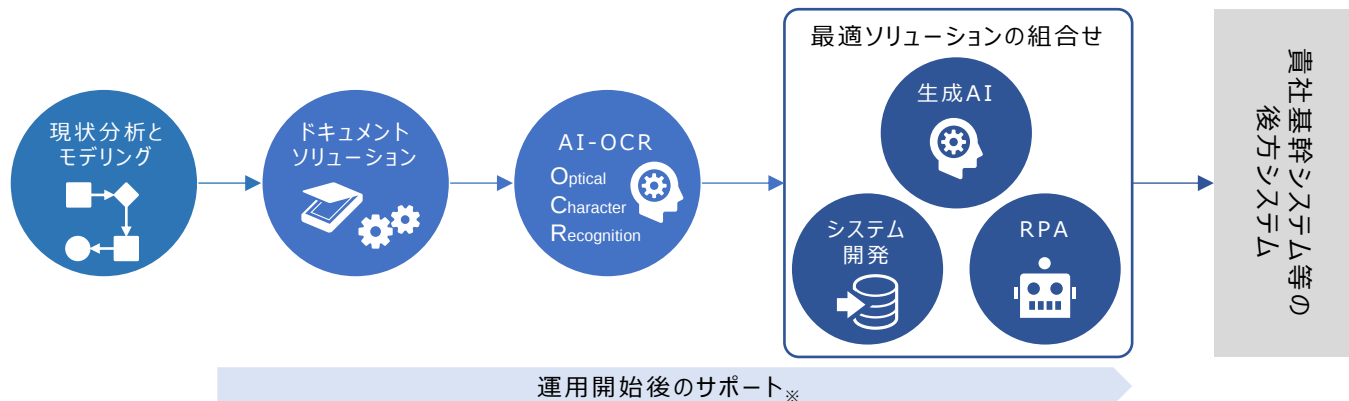
業務プロセス全体の最適化

- ・ 現状の業務プロセスにおける、デジタル（ソリューション）とアナログ（人手）の役割分担と適用を整理する。
- ・ それぞれの役割の過不足を最適化した、新たな業務プロセスを導き出し、業務を再構築する。

コンサルティングから業務構築、運用開始後のサポートまで一気通貫の体制でご対応します。

コンサルティング

業務構築（運用構築＋システム構築）



現状分析とモデリング （BPMN）	業務プロセスを視覚的にモデル化し、現行プロセス（As Is）の課題を整理にします。また「As Is」を最適化した「あり姿」（To Be）をモデル化し、効率化の基盤を作成します。
ドキュメントソリューション （コダックアラリス）	実務経験30年以上の豊富な知見から、貴社業務に最適なドキュメントスキャナーや、イメージ仕分けツールをご提案いたします。
AI-OCR （DX Suite）	手書きの書類や紙媒体によるデータを効率よくデジタル化することで、手作業によるデータ入力の作業負担を大幅に削減します。特にバックオフィス業務の受付プロセスを効率化します。
生成AI （ギブリー等）	従来、人手で行っていた、文書内の文字抽出や、文書種別の判定等を自動化することで、オペレーション人員がよりクリエイティブな業務に集中できる環境を提供します。
RPA （WinActor）	文字転記や、システムの情報登録等、ルーチンワークとして人手で対応していた業務を自動化します。また、システム間のデータ連携等も、RPAで代替できる可能性があります。
システム開発	貴社専用ツールの開発や、現行プロセス（As Is）とあり姿（To Be）のデータ連携のためのシステム構築等にも、柔軟に対応いたします。

【※】運用開始後のサポートとして、「コールセンター」による受付、「SES」によるサポート等のご提案も可能です。

業務改善事例

業務	課題	対策
立替事業 	- 通信・公共料金の立替事業拡大に伴い、「AI-OCR」を導入。 - しかしながら、個別にOCR読取り位置を設定する必要があり、請求書種類の増加に比例して、設定やメンテナンス作業の稼働が急増。 - 内部コストが増加傾向で、更なる効率化が急務。	- 請求書を類似する様式毎にグループ化。 - それぞれのグループに「非定型向けAI-OCR」の機能を汎用的に定義することで、読取り位置の個別設定や、メンテナンス作業の稼働を削減。 - また、イメージ仕分けツールを導入し、スキャン後の請求書イメージのグループピングを自動化。 - これらにより「AI-OCR」の前処理工程を効率化。
債務整理業務 	- 自社の債務整理書類の受付業務をアウトソースで実施。 - 受付書類の基本情報（債務者名、弁護士名等）を人手で自社システムへ入力。 - 書類の記載内容を目視で確認し、約40種類の文書カテゴリへ識別する作業を人海戦術で行う。 - 受付書類の件数増加に伴い、運用の効率化が急務で、人海戦術からの早急脱却を希望。	「AI-OCR」と「生成AI」を組み合わせた、新業務プロセスを事前検証。検証により実効性が確認され、本番環境の構築検討に至る。 <検証した新業務プロセスの流れ> ①「AI-OCR」で受付書類を「全文テキスト化」 ②「生成AI」を使って「全文テキスト」から基本情報を抽出 ③抽出結果を「RPA」によって、自社システムへ自動登録 ④既存の文書識別マニュアルを「生成AI」で事前学習 ⑤「生成AI」で文書識別を自動判定

株式会社 UFジャパン

（住吉事業所）

〒135-0011 東京都江東区扇橋2-1-7 3F

TEL 03-6666-4106



お問い合わせ・資料請求は
ホームページからお願いいたします。

<https://ufjapan.co.jp/contact/>

記載内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。